

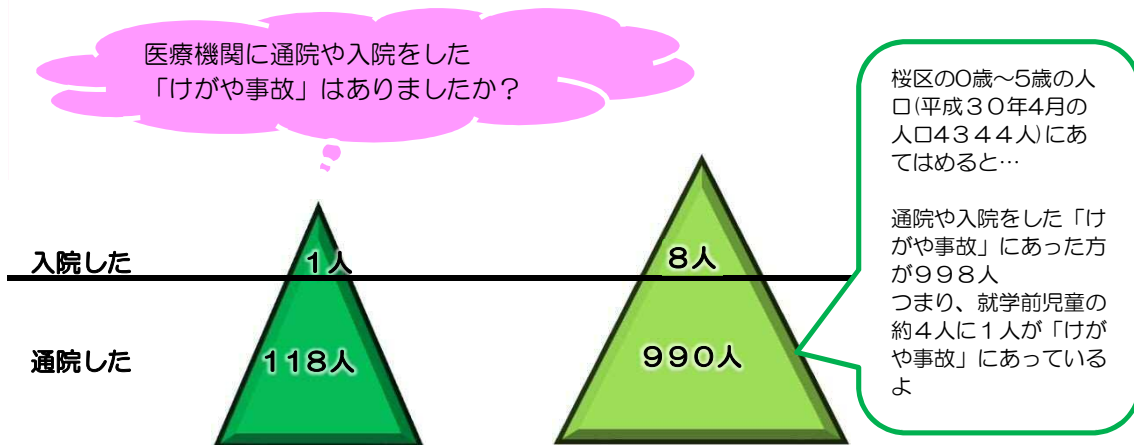
平成30年度桜区子どものけが・事故に関する調査結果

桜区子育て支援ネットワーク会議では、子どもを取り巻く生活環境の変化に伴い、子どもの生活空間に変化が生じているのではないかとの意見に基づき、「桜区子どものけが・事故に関する調査」を関係機関のご協力のもと実施いたしました。

【調査の概要】

- 1 調査内容
子どものけが・事故発生状況等を把握するため、区内の未就学児の保護者を対象としてアンケート調査を実施
- 2 調査期間等
①調査実施月 平成30年7月
②けがや事故を振り返っていただいた期間…平成29年7月から平成30年6月
- 3 調査対象・回答件数
調査対象：区内の認可保育園、幼稚園等を利用している0歳児から5歳児の保護者
回答件数：518人

結果① けが・事故の発生件数(n=122件)



※ 入院したか通院したかについて無回答だった方：3人

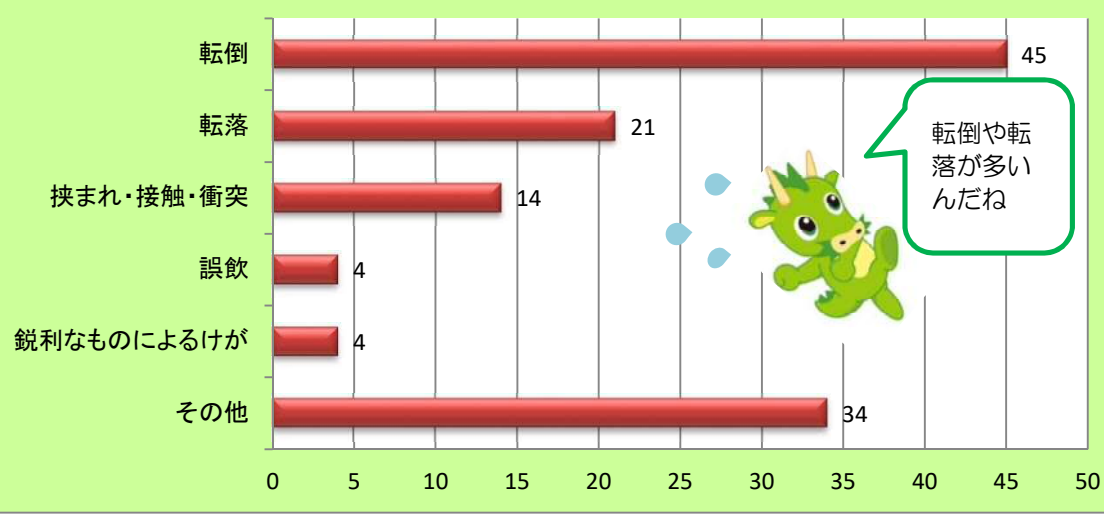
結果② けが・事故の場所(n=122件)



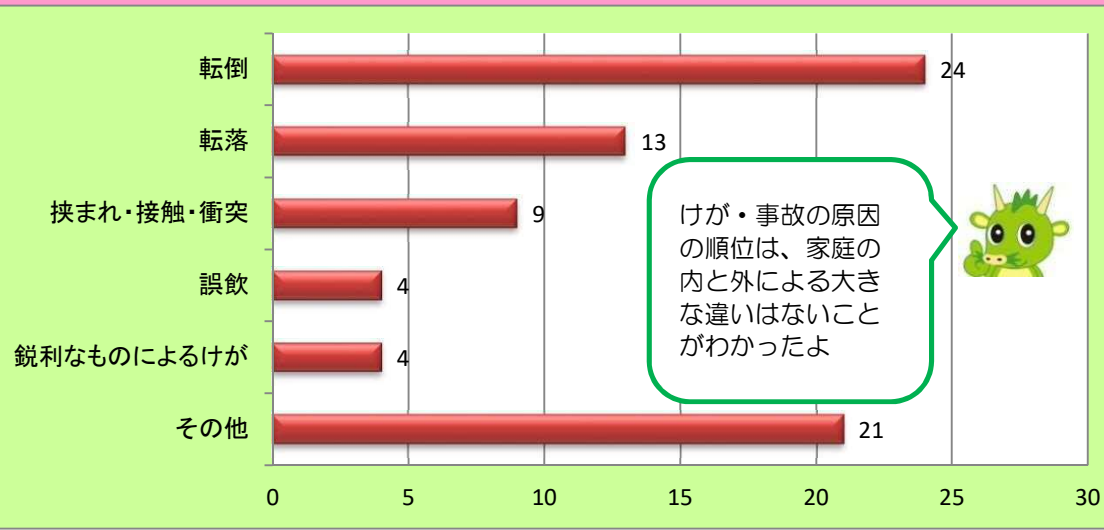
結果③ けが・事故の種類(n=122件)



結果④ けが・事故の原因(n=122件)



結果⑤ 家庭内のけが・事故の原因(n=75件)



家庭内における事故防止対策の取組状況

項 目		実施率
転落	ひとりでソファ、椅子などに寝かせない。	70%
	自宅の階段や段差のあるところには、柵など転落防止対策を必ずする。	40%
	ベッドの柵は必ず上げる。	37%
やけど	お風呂やシャワーは必ず湯温を確認する。	92%
	こどもが近くにいるときや、抱いたまま熱いものを扱わない。	87%
	食べ物・飲み物をテーブルの端に置かない。	84%
	炊飯器や加湿器、暖房器具、アイロン、ポット、鍋などのやけどの原因となるものは、こどもの手の届かないところに置く。	79%
溺れ	入浴時、水遊び時は目を離さない。ひとりにしない。	91%
	お風呂の残し湯をしない。または、十分注意している。	82%
誤飲・窒息	危険なもの（タバコ、コイン、指輪、ポリ袋、シール、鋭利なものなど）はこどもの手の届かないところに置いている。	80%
挟まれ	引き出しにはストッパーを付けている。	35%
その他	こどもをひとりにしたまま外出していない。	92%
	車に乗る時は、チャイルドシートを後部座席に取り付けている。	88%
	かかりつけの医療機関や緊急時の連絡先が分かるようにしてある。	83%

あなたは大丈夫ですか？
身の回りの「けがや事故」のリスクがないか
確認してみよう！

